

# 誰でもできる見習い訓練士の犬のしつけ方法



みなさんこんにちわ 木村裂子です

将来訓練士になるために日々犬と遊んでおります ^^

ここで、訓練士さんたちがしている、犬の服従方法をご紹介します。

この服従方法は、**家庭犬**にもすごく役に立つ服従方法です。

家庭犬を飼っていらっしゃる方にも、簡単に服従方法が出来るように書かれていますのでぜひ、応用してわんちゃんたちと、楽しく、遊んでくださいね。

それでは、誰でもできる見習い訓練士の犬のしつけ方法スタートです

## その1 (犬のとの関係を深めましょう)

いきなり、練習しましょうといっても、犬もとまどってしまうので、  
飼い主さんになれてもらうために、リードをつけて一緒に歩いたり、  
走ったり、ボールにはどのくらい興味があるのか、確かめながら、  
そして飼い主さんにも慣れてもらうために1ヶ月位は自由に  
遊ばせます。

とにかく、犬たちとは遊んで**私って楽しいでしょう～～**  
と思わせることがポイントです

それでは服従の練習をしてみましょう

リードは左手にもち犬を左側に歩かせます。

今まで自由に歩かせていたので、犬も自分の行きたい方向に歩きます。

このままで練習してしまうと犬が混乱してしまいますので、

犬に私が**1番**ですと思わせなければいけません。

そこで、犬と一緒に歩いて、犬が先頭を歩き出したらちょっと

力を入れて**グイッと反対方向に歩きましょう。**

最初、犬はビックリするはずです！！

でも、これを何回か繰り返していると犬も自然に飼い主さんの歩くほうを気遣って歩くようになります。

そういう歩き方が出来たら、**犬を褒めてあげましょう。**

犬の褒め方も犬それぞれですが、おやつを与えて褒める、ボールで遊ぶ、飼い主さんが喜んだ姿で犬も喜ぶならポテタータッチで喜んであげる。

その子の好きな褒め方をしてあげてください。

どうして、こういう歩き方をするかというと？

**優先順位**を決めなければいけないんです。

犬が1番だと、人間の言うことは一切聞いてくれません。

ここで、犬を反対方向に向かせて歩くという行動は人間が**1番**であなたは**2番**ですと犬に教えてあげるんです。

犬は優先順位を決める生き物なので、ここであなたが1番になれば、犬と人間といい関係で生活することが出来ます。

## その2 (犬と一緒に歩く)

今度は一緒に歩く練習です

リードは短く持ち私と同じ速さで歩く練習ですが、

とても簡単です。

犬が飼い主さんよりも先に歩いたらリードをちょっときつめに引っ張りましょう。この時の犬の首輪ですが、皮、布製品よりも、**チェーン**のほうが練習しやすいです。

イメージ的には私の歩いている膝と犬の顔が並んでる感じがベストです。これはあくまでもイメージなので、犬が飼い主さんよりも先に歩かなければいいということをイメージしてくださいね。

中には引っ張っても先に行きたがる犬もいますが、そういう時は最初に

お伝えした反対方向に歩く練習をしたらいいと思います。

そして、そこそこできるようになったら、一緒に歩く練習をしてみましょう。

毎日毎日じみちに練習すると犬も人も心がつながって、一緒に歩くことができるようになります。

とにかく、飼い主さんより前に出たら、引っ張る、そして同じ速さで歩けるようになったら、**そこで褒める!**と繰り返しこの作業をしていると犬は自然に覚えます。

ここで、掛け声ですが、個々それぞれですが、私の場合座れ、待て、ふせは、皆さんと同じだと思いますが、一緒に歩くときのスタートの言葉は「**あとへ**」とっています。

この「**あとへ**」の言葉はとても便利で一緒に歩くときも右回りのときも「**あとへ**」と言葉をかけます。

とても便利な言葉です

### **その3 (犬と一緒にゆっくりあるく)**

普通の速さで歩けるようになったら、今度はゆっくり歩いてみましょう。

この時も犬は普通の速さで歩いていきますので、

この時も「**ゆっくりあるく**」など声をかけ、リードを引っ張り

調整しながらゆっくり歩いて見ましょう。

ゆっくりの言葉の掛け声はみなさんがいつも言いなれた言葉大丈夫で

す。犬はあなたの言葉を理解しているはずです。

犬がとまどったしぐさなどをした時は、ゆっくり歩いて、

**これがゆっくりあるく事なんだよって**犬に話しかけながら、歩くと

理解してくれます。

### **その4 (犬と一緒に走る)**

次は、一緒に走ってみましょう

走る時も、同じ速さ、距離をたもちながら、一緒に走る

練習をしてみましょう。ここまでくると、掛け声も、みなさんの

使いたい言葉で大丈夫ですし、犬が先に走ってしまったら、

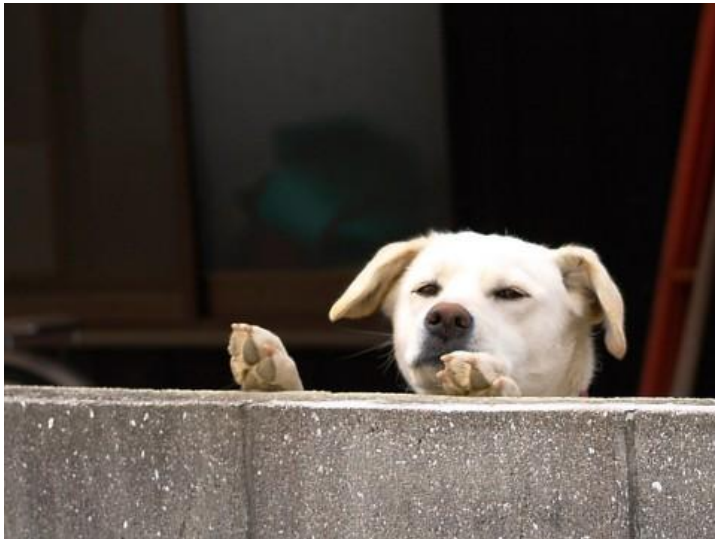
**リードで引っ張る。飼い主さんとの距離が離れたらリードで引っ張る。**

**これを繰り返すだけです。**

**そして最後は飼い主さんと犬と一緒に右回りをして、左側に座らせて**

**終了です。一緒に走ることができたら、**

**おもいきり褒めてあげましょう！！**



## その5 (右まわり)

今度は私の左に座っている犬が「あとへ」の言葉で飼い主さんの回りを右回りをし、また私の左側に座る練習です。

最初から出来る犬はいないので、エサで惑わしながら一緒に犬と回しましょう。そして一周したら座れの言葉で座らせましょう。

これは1.2回の練習でできることではないので、毎日**エサ**、**ボール**を使いながら楽しく練習しましょう。

このときの注意するところは、犬が右回りをするとき、人はただ、立って指示を出すことしかしません。

犬の回り方が人との距離が1mも離れて回るようではダメなんですね。

最初は、リードを短く持って一緒に右回りの練習をしましょう。



## その6 (右、屈折)

次は、右屈折の練習です。

真っ直ぐ歩いているものだと思っている犬に突然右にまがるの！

って言っても犬もびっくりしてしまいますね。

この時も私の号令は「**あとへ**」の言葉です。曲がり角にきたら、一回止まり、飼い主さんが右を向いたら、犬もリードで右の方に誘導します。またここで褒めてくださいね。

ここで、右に曲がる時人差し指で犬の鼻先、目先あたりを曲がるほうに（**こっちにまがるよ**）っていうふうに指図すると犬も曲がりやすいでしょう。

右曲がりがある程度できるようになったら、今度は曲がり角で一回も止まらず、スムーズに曲がれるように練習してみましょう。

キレイに曲がるためには屈折する一歩手前から「**あとへ**」の号令と指先準備していると、ちょうど屈折ラインのところで犬が曲がれる為、

競技会に出たときなどは綺麗に見えるため審査員の目もごまかせます

手の誘導もあまりしてしまくと、減点になってしまいますので、  
ここはよく練習しておいてください。

左屈折も、右屈折と同じやり方です。掛け声は「**あとへ**」ではなく  
あなたの言いやすい言葉を使って下さい。私は「**ひだり**」と言っています。

## その1 (たって待て)

次は「立って待て」の練習をして見ましょう

立つことは出来ますが、そのまま待てと言ってしまうと、  
すぐに伏せしたり、座ったりしてしまいます。

ここでも、犬に「**立って待て**」と「**待て**」の違いを  
教えてあげましょう

立って待ての時は指導手は犬の横に立ち、常にたってまての言葉をかけて、座りそうになったら、手で犬を立たせて、立って待てを教えてください。

そして立って待てができれば、**いっぱい褒めてあげましょう。**



**最後に・・・**

**見習い訓練士さんたちが行っている服従練習方法を、**

**少しですが簡単に書きました。服従方法は、他にもたくさんありますし、**

**しつけかたもいろいろあります。**

**もっと覚えなければいけないことも一杯あります。**

**ここで紹介した服従訓練方法はあくまで、見習い訓練士が**

**犬のしつけを日々行っている出来事をほんの少しだけ書きました。**

**犬のしつけに興味を持っている方や、将来訓練士を目指してる方、**

**また、ご自分の犬をしつけてみたい方の為に**

**簡単ですが、ほんの一部だけ書いてみました。**

**服従方法はこれが完璧な服従方法ではないので、**

**少しでも参考になればと思っています。**

**完璧にしつけを入れたい方はお近くの訓練所に預けてくださいね。**

**より良い関係を築くことができれば、人と犬本当に幸せに暮らせます。**

**ここで紹介した服従方法は素人でもできる訓練方法です。**

**ぜひ、みなさんのわんちゃんたちと楽しく、遊びながらしていただくこ**

**とで、飼い主さんと、犬の関係を深めることができます。**

**少しでもみなさんのお役に立てれば幸せです。**

**参考にしてみてくださいね**

**また、このレポートを読んでの感想や**

**何かわからない事がありましたら、いつでもお気軽にご連絡ください♪**

**連絡先メールアドレス [saki919\\_09@yahoo.co.jp](mailto:saki919_09@yahoo.co.jp)**

**「 誰でもできる見習い訓練士の犬のしつけ方法 」**

**著者 木村裂子**



**END**